

闘 争 開 始 宣 言

わが国は、超少子高齢化と人口減少社会を迎え、生産年齢人口の大幅な減少による内需の縮小や、担い手不足による社会保障制度のバランス崩壊が危惧される。更には、この構造変化に加え、労働付加価値に対する分配のゆがみ、増え続ける非正規雇用、収入格差の拡大により、働く者の雇用・生活に対する将来不安が高まっている。

このような中、政府は「新3本の矢」を放ち、「一億総活躍社会」を実現するといっているが、その中身は私たち働く者、生活者の声を無視した選挙目当ての「バラマキ」政策であり、騙されてはならない。

一方、今春季生活闘争において経営者側は、「デフレ脱却」と「経済の好循環」を実現するといいいながら、ベアは経営者の重荷であり、昨年以上の賃上げを求めるのは困難であると、慎重な姿勢を崩していない。

企業が過去最高益を更新する中、収益や貯め込んだ内部留保を労働者へも適正に分配され、家計消費を拡大し、それを通じて内需拡大をはかることが「経済の好循環」を生み出す重要な一歩である。

このような情勢を踏まえ、2016 春季生活闘争は、「デフレからの脱却」と「経済の好循環」をめざし、月例賃金の引き上げにこだわった取り組みを継続するとともに、あらゆる手段を用いて全産業の「底上げ、底支え」「格差是正」を実現する取り組みを展開していく。

2016 春季生活闘争は、今後数年間の運動を展開していくための新たなスタートを切る年である。いずれの課題も「言うは易く行うは難し」であるが、春季生活闘争を「自分たちのもの」と捉え、一人ひとりが主体的な思いのもと、すべての労働組合が要求を掲げ、回答の引き出しに全力を尽くしていく。

今日から本格的な闘いのスタートである。

職場・地域から闘いを巻き起こし、すべての働く仲間と連帯を深め、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団！」として、総がかりで行動しよう。

連合山形は、ここに2016 春季生活闘争の開始を宣言する。

2016年2月3日

連合山形2016 春季生活闘争討論集会